



いけだ 議会だより



ソーラン
ソーラン ♪

▲元気な園児のよさこい 第33回ふるさと祭



●ホームページ●

<http://www.town.ikeda.gifu.jp/gikaki/gikai.htm>

●E-mail●

yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

9 月議会

主 な 内 容

平成21年第3回定例会	2
第2回臨時議会	3
一般質問	4～6
委員会レポート	7～8
養老鉄道レポート	9
活動日誌	10

第3回 定例会

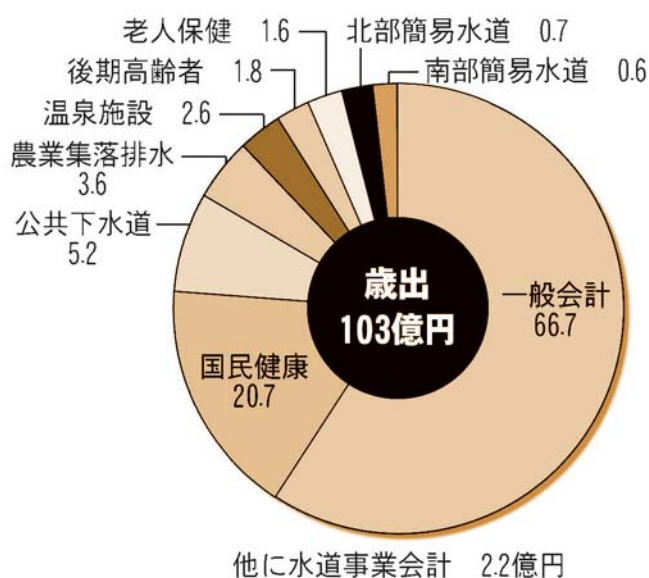
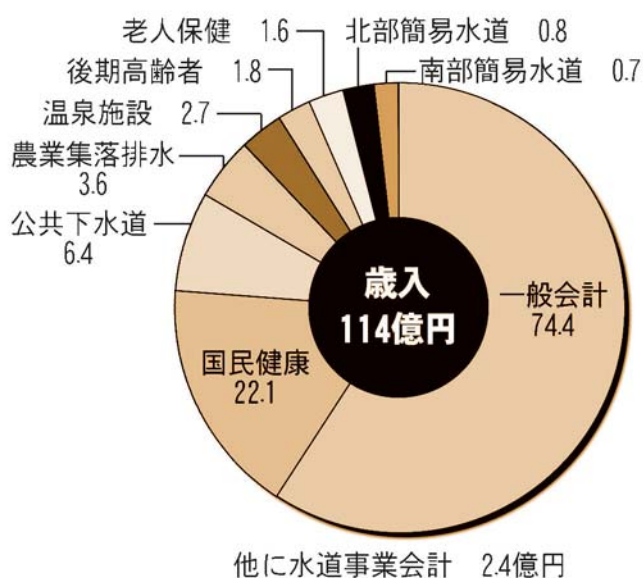
平成20年度 決算を認定

9月7日
▼
9月14日

一般会計 歳入 74億4,329万円 (前年対比 9.0%増)

歳出 66億6,637万円 (前年対比 4.7%増)

特別会計 8会計及び水道事業会計 認定



監査委員の意見

- ◆ 平成20年度決算について、帳票及び諸帳簿等よく整理され会計、経理は適正であった。
- ◆ 今後はこれまで以上に※「プライマリーバランス」を財政運営の行動原理に掲げる必要がある。

人事案件 (敬称略)

・選挙管理委員

今西 弘雄、香田 九十九

清水 義一、竹中 優一

(補充員)

土川 眞智子、窪田 紀一

坪井 秀人、竹中 康子

・固定資産評価審査委員

松岡 秀雄

・人権擁護委員

勝野 陽子

(再任)

三件とも原案に同意

専決処分事項

・平成21年度一般会計補正予算

(第4号)の承認

女性特有のがん検診事業費

233万5千円を追加

※「プライマリーバランス」とは

その年の収入だけで、その年の支出をまかなうこと。

第2回 臨時議会（7月23日）審議内容

1、工事請負契約の締結

- ・池田中学校体育館耐震補強工事請負契約
契約金額 1億185万円（税込み）
事業所 太陽工業株式会社



中学校北舎塗装工事

2、平成21年度一般会計補正予算の可決

国の補正予算に対する池田町補正予算と事業対応

(財源内訳)		(千円)
学校情報通信技術環境・理科教育設備整備事業補助金（国庫）		25,916
地域活性化・経済危機対策臨時交付金（国庫）		124,138
一般財源		10,000
財源合計		160,054
 (補正内訳)		
①総務費関係	共有財産台帳整備業務	15,500
	町税過誤還付金及び加算金	5,500
②民生費関係	ぬくもりの里改修工事	3,000
	保育園・児童館冷暖房設置、高木植栽工事	8,408
	養基保育所組合負担金	1,358
③農水費関係	耕作放棄地再生事業	4,700
④商工費関係	プレミアム商品券	3,500
	北池野駅、池野駅駐輪場・駐車場整備事業	7,542
⑤土木費関係	道の駅整備事業	60,000
⑥教育費関係	小中学校情報通信技術環境整備事業	37,655
	小中学校理科教育設備整備費備品	10,821
	中学校北舎塗装工事	12,265
	通学路安全施設整備事業（街灯）	2,600
	中学校渡り廊下耐震診断委託料	1,145
	小中学校修繕料	1,783
	養基小組合負担金	923
	各公民館・体育館情報通信技術整備事業	3,357
	南部公園等高木植栽工事	2,377
	学校給食センター耐震診断事業・煙突改修工事	2,645
⑦予備費関係	予備費	△ 25,025
事業費合計		160,054

*現在、政権交代により一部見直しがあります。

養老鉄道存続のため 無料駐車場をふやし他町の人もOKに



美濃本郷駅の無料駐車場
平日は42台満車、入れない車もある

町内の3駅から大垣まで1年定期は140、620円、養老鉄道の大切な基礎収入源だ。美濃本郷駅と北池野駅の東駐車場は平日満杯、利用者増をはかるためもと駐車場を。

町長

他町に先駆けて無料駐車場の整備をしてきたので養老鉄道利用者が減っている中、町内3駅とも1割の乗客増だ。今後も逐次すすめる。

少しでも乗客を増やしたい時に「町外の方はご遠慮下さい」という駐車場の看板の文字は消された。

町長

町内利用者が落ち着いたら消す。

各駅に鉄道を支援するボランティア組織を公募で作り、駅周辺を地域民が守る形にしたかどうか。

町長

そんな組織があれば大変ありがたい。自主的に作っても、町は積極的に支援する。

洪水被害を最小に抑えるために 川の容量を大きく

1年前の西濃豪雨の復旧工事が大津谷・大谷・霞間ヶ溪の巨大堰堤などで今も行われている。事業費はいくらになるのか。

町長

国の指定を受けたので3年間は事業が続き、確

定事業費としては12億円。内、町の負担は3%の3760万円、あとは国・県の負担。最終的には15億円になるだろう。

平成14年の災害でも多くの土砂が出たが、今回はどうだったか。

町長

14年は6万㎡、今回は15万㎡と大量だった。今後に備えて堰堤を造ってもらっている。

復旧する時、あまりに人工的な谷川より、さらに強くしなやかに自然に寄り添った復旧を考えられないか。すなわち、川幅を広げ川底の土砂を取り堤防を高くし、水量が多くてもスムーズに流れるように。また最大流量を減らすため遊水地もというように。

町長

上流に堰堤をたくさん造り、下流の負担を無くしていきたい。霞間ヶ溪は文化財なので河積断面をあれ以上大きくは出来なかった。

災害にそなえ、住民みずから住んでいる土地の特徴を知ってもらうための役場にハザードマップを引き伸ばして展示された。

町長

やります。



海津市南濃の羽根谷だんだん公園
砂防のモデルとも言われる。広い河道と、いくつもの堰堤があばれ谷の流れを安定化した。

行政(自治体)の コンプライアンスについて

～公正・公平な行政事務は
行われているか～

町長

公表や制度化はしないが、記録を残し問題解決していく。

内部告発者の保護についての認識は。

町長

過去事例はない。内部告発が出るという状況は、考えられない。

(要望)

町内業者の優遇措置
(不況時の保護主義政策)

新エネルギーへの 取り組みについて

～環境自治体を目指して～

環境基本計画における二酸化炭素の排出量削減の数値目標への方向性は。

町長

現在基本計画は策定していない。今後国の施策をみながら対応していく。

公共施設の新エネルギー化は、具体的に、いつ、どの程度のエネルギー発電を見込んでいるか。また備蓄は可能か。

町長

総合体育館のLED化などで、CO₂削減をしていく。補助金しだいで屋根のソーラー化は可能だが、まだ設計にも至っていない。発電量からして備蓄はできない。

災害時の指定避難場所、庁舎など指令拠点のソーラー化は、防災の上、早急に実施すべき。『職員提案制度』の実現による、様々な低炭素化に向けた縦割りでないプロジェクトも考えていく必要性がある。

町長

災害時対応として、庁舎には自家発電装置が備えてある。また中電との連携で進める。



屋上設置型ソーラーパネル

パンデミック(新型インフルエンザ) 対策について

行政のリスクマネジメントは
大丈夫か

人命に影響がある、人口の20%強を占める65歳以上の高齢者や、5歳未満の乳幼児や妊婦、各種疾患患者への対応について。

町長

医療機関と連携しながら進めている。マスクの配備や備蓄は整っている。

秋のイベントや祭りへの実施基準は。段階的な予測の上に立った計画の策定が必要かと考えるが。

町長

状況を見ながら考えていく。うがい手洗いなどをさらに徹底していく。

(要望)

蔓延が囁かれる期間限定の職員、学校等の公的機関のマスク義務化。

(要望)

CO₂削減へLED対応の実施強化

総合福祉センター 建設計画の見直しを！

多目的ホールは1階で

四次総で多目的ホール解体後総合福祉センターが二階建てで計画されていた。一階で計画された社会福祉協議会やシルバー人材センター等はふれ愛の家が移転改築されるので現在地で福祉ゾーンとして利用すればよい。二階に計画された多目的ホールはどうしても必要、高齢化社会を考えると一階でないと困る。国体後どうするのか。計画の見直しを。

町長

現在の多目的ホールは非常に使い勝手のいい体育館などで修理や塗装をして国体後も出来るだけ長く使いたい。総合福祉センターは五次総にハード面は入れない予定。

中央公民館のレンガ、 雨もりの修繕を



中央公民館テラスのレンガはがれ

中央公民館のホールと会議室を二階で連絡するテラスのレンガが(6メートル四方)はがれ、そこから浸透した雨水が浸みてつららが出来ている。早急に修理を。

町長

業者に調査してもらった。レンガから浸透した雨水ではなく、壁面のクラックから浸透した雨水でつらら状の物が出来たと確認した。レンガと壁面の補修を次の補正予算で対応します。

乳幼児の細菌性髄膜炎予防 ヒブワクチン接種に助成を！

日本では乳幼児が細菌性髄膜炎に年間約千人が感染しそのうち5%は死亡、25%は重い後遺症で悩まされています。それに有効なのがヒブワクチンで世界では約120カ国が使用、90カ国では定期的な接種がされ感染者が100分の1以下になっている。日本では昨年の12月から使用出来るようになり県内でも昨年大垣市が、今年から関市が助成することになった。しかし、一回の費用が七千五百円ぐらいで四回接種しなければならず大変高額で普及していない。また、ワクチンも不足していて予約制になっている。ヒブワクチンの接種にたとえ一回でも助成し不幸な子供さんが出来ないようお願いしたい。

町長

保健センターに問い合わせがきている。国での体制づくりや供給状況を見ながら任意接種のインフルエンザ等を踏まえ検討します。



その他に新型インフルエンザ対策、政権交代に伴う国の政策変更についての対応について質問。

総務建設産業委員会

付託案件

☆平成20年度一般会計歳入歳出決算の認定
その他6件
☆平成21年度一般会計補正予算
その他5件

主な審査の内容

- Q** 不納欠損で、5年以上滞納者への対応はどのようにしているか。
- A** 不動産を、差し押さえすれば時効が中断するので、5年以上経過した滞納者へも、催告書を出している。
- Q** 昨年9月発生の災害復旧の進捗状況は。
- A** 順次測量等調査し着工しているが、今後も、関係機関と協議し進めていきたい。町たばこ税について、大きく落ち込んできたがその

- Q** 原因は何が考えられるか。
- A** タスポカード導入や健康志向による。
- Q** 各区の防災備品についての取り扱いはどうに考えているか。
- A** 賞味期限のあるものは、地区で有効に利用し、テント等は、いざというときに使用できるように訓練等実施していた。大型資機材は今後更に充実させていきたい。
- Q** 養老鉄道について、決算状況から



災害復旧工事中のコウトケ谷～大津谷



災害復旧工事中の鎌ヶ谷（霞間ヶ溪）

- Q** 見ると、人件費を削減しないと経営の展望が開けないと思うか。
- A** 会社としては、安全に運営するには従業員を教育しなければならぬなど、経費がかかるとの意向がある。町としては他市町と連携して問題解決に当たりたい。
- Q** 北部簡易水道の使用量が減ってきたことと、有収水量率が低い原因は何か。
- A** 大口の方が自家水道に切り替えられたことにより減となった。また有収水量率が低いのは漏水や消火栓の目的外使用等によるものと考えられる。
- Q** 農業集落排水事業について、各地区の収支のバランスと処理能力についての見解は。
- A** 公共施設の有無、汚泥量等処理地区毎に条件が異なる為一概に言えない。また処理能力については、処理対象人口と使用対象人口との差が余裕分となる。使用対象人口が超えている地区については、処理機械運転時間の調整等をしながら対応している。
- Q** 下水処理料金を従量制にすることについての進捗状況は。
- A** 多くの問題を含んでいるので、今後も引き続き検討していく。
- Q** 池田温泉の臨時職員賃金が減ってきているが、サービスの低下につながらないか。
- A** 賃金単価は下がっていないが、コスト削減も考慮するなか、人員配置の見直しにより減となった。
- Q** 使用されていない火の見やぐらを、町で撤去出来ないか。
- A** 所有形態により町の撤去も考えられるが、地元とよく協議していきたい。
- Q** 緊急雇用対策事業の内容は。
- A** 道路河川、施設の点検美化等、池田町の条件に合致した事業を出来る限りリストアップし取り組んでいる。

民生文教委員会

付託案件

- ◎平成20年度一般会計決算及び特別会計決算3件
- ◎平成21年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件
- ◎国民健康保険条例の一部改正

主な審査の内容

- Q** 国民健康保険条例の条文で「被保険者であった者」との、表現は適切か。
- A** 出産時が該当するかしな
いかの基準ではあるが、期間限定の経過措置であり資格喪失後に申請がなされた場合この表現となる。
- Q** 池田公園について雑草が生える等適切に管理されていない箇所がある。
- A** 指摘の箇所について、早急に対応したい。



管理不足の植栽（池田公園）

- Q** 保育園の定員はどのように設定されているか。

- A** 平成21年度より厚生労働省の設定基準が見直され30人刻みのものが10人刻みとなった。年度初めに入所対象者等を検討し承諾を得て決定している。

- Q** 生ゴミ減についての見解は。

- A** 過去にその都度有効と思われる方法を推進し徐々に成果は上がっているが、今後もより有効な方法を模索し減量につとめたい。袋代については今のところ改正する時期ではないと考えている。

- Q** 火災警報器設置業務について、その内訳は。

- A** 75歳以上の高齢者世帯を対象に今回は100台分を取り付け料を含め予算化した。施工方法等については実施段階でよく検討して取り組みたい。
- Q** 夏休みラジオ体操奨励賞の内訳は。
- A** 各支部長から自主申告してもらい、記念品として全員に文房具を配布する。

る。

- Q** 池田中学校通学路防犯灯新設工事の内容は。

- A** 藤代・草深地内に全部で8基を設置する。河川協議が必要な箇所については、速やかに手続を進め施工していきたい。



ボカシによる土づくり



乗って残そう養老鉄道



養老鉄道 各駅 1 日乗降人員（合計）

<平成20年11月18日(火)交通調査結果 前回平成17年11月8日(火)>

(単位:人)

	20.11.18	17.11.8	比較	
桑名	4,853	5,788	-935	-16.2%
播磨	582	936	-354	-37.8%
下深谷	1,174	1,396	-222	-15.9%
下野代	485	525	-40	-7.6%
多度	1,424	1,619	-195	-12.0%
美濃松山	883	1,098	-215	-19.6%
石津	601	700	-99	-14.1%
美濃山崎	181	225	-44	-19.6%
駒野	1,009	1,265	-256	-20.2%
美濃津屋	316	377	-61	-16.2%
養老	638	747	-109	-14.6%
美濃高田	1,032	1,160	-128	-11.0%
烏江	982	955	27	2.8%
大外羽	889	935	-46	-4.9%
友江	541	527	14	2.7%
美濃青柳	559	673	-114	-16.9%
西大垣	379	347	32	9.2%
大垣	8,790	8,911	-121	-1.4%
室	526	511	15	2.9%
北大垣	398	387	11	2.8%
東赤坂	374	489	-115	-23.5%
広神戸	1,064	1,060	4	0.4%
北神戸	655	581	74	12.7%
池野	840	800	40	5.0%
北池野	579	519	60	11.6%
美濃本郷	643	551	92	16.7%
揖斐	1,743	1,826	-83	-4.5%
合計	32,140	34,908	-2,768	-7.9%

池野・北池野・美濃本郷の3駅は、みなさんのご協力で増加した。



海津市との交流（ふるさと祭）

養老鉄道との懇談会開催

平成21年9月8日 養老鉄道より代表取締役社長 野口氏他2名の職員が来庁され、当町議会議員、養老鉄道の永続を進める会との懇談会が開催されました。

社長より経営状況について、人口減少や車社会等のため乗降客が減少しつつあり、平成20年度の年間利用者は690万人。今後とも安全を損なわない限りのコストダウンに努め、経営努力をしていくとの説明がありました。その後質疑が行われ、出席者より駅及び周辺の利用、他市町の取り組み状況等について熱心に協議され、養老鉄道としても取り組めるところから順次、実施していきたいとの回答がありました。

養老鉄道の過去2年間の主な改善策

①誘客イベントの実施

薬膳列車、ご当地切符、ハイキング、グッズ販売等々

②沿線企業に積極的営業活動

ニーズに合う商品開発

③利用者に効率的な列車設定

④無人駅、不正乗車防止対策

アルバイトによる出改札実施

⑤退職再雇用社員、非正規社員による人件費削減

等により、乗客と売上の増、経費削減に務めた。

22年には協定の満了、再契約となる。
何としても養老鉄道を
みんなで守ろう！！

議会活動日誌

7 月

30日（木）西美濃さくら苑議会
31日（金）総合計画策定・講演会

8 月

5日（水）斎苑清掃
社会福祉協議会理事会
8日（土）東公民館盆踊り大会
9日（日）PTA連合会研修会・講演会
養基ふるさと夏まつり
10日（月）揖斐広域連合議会臨時会
11日（火）ふれ愛の家工事安全祈願祭
23日（日）水郷まつり



養老鉄道との懇談会

10月

3日（土）明和義民感謝祭
4日（日）第33回みの池田ふるさと祭
5日（月）池田町民バス「ほほえみ号」出発式
9日（金）広報編集委員会
12日（月）第26回町民スポーツフェスティバル
13日（火）広報編集委員会
14日（水）広報編集委員会
17日（土）福祉運動会
18日（日）第24回ヤングフェスティバル
19日（月）広報編集委員会・月例議員懇談会
郡三町議員研修会
22日（木）広報編集委員会
25日（日）環境フェアいけだ
川と海のクリーン大作戦



毎年恒例の斎苑清掃

9 月

2日（水）議会運営委員会
月例議員懇談会
7日（月）第3回定例会（一日目）
広報編集委員会
8日（火）養老鉄道との懇談会
9日（水）民生文教委員会
10日（木）総務建設産業委員会
13日（日）池田中学校体育祭
14日（月）第3回定例会（二日目）
19日（土）小学校運動会
21日（月）敬老会
29日（火）月例議員懇談会
30日（水）池田町計画審議会



「ほほえみ号」出発式



政権が交代し時代が大きく変わろう
としています。
CO₂の25%削減目標も掲げられ、私
たちの生活も大きく見直されなければな
らない時代ではないでしょうか。そん
な中、最近特に思うことは、いろいろ
時の流れが速すぎて、少々時代につい
て行けないような気がしています。私
たち議員は、いろんな行事に出席する
ことが多くありますが、従来からある
行事に、今の時代に合わせた新しい行
事も加わり、主催者は勿論、参加者の
負担も大きくなってきている。そんな
ことを議会だよりの編集をしながら
「ふく」と思いました。誰もが「忙しい」
が口癖のようになっていくような気が
します。これからは、CO₂削減のため
にも、もっとゆとりとした時間を、如
何に過ごすが大事な時代になってく
るのではないのでしょうか。

土川
博

編
集
後
記